



糸数 たかこ 1 期目 4 年間の確かな実績

会計年度任用職員の処遇改善を訴えました

会計年度任用職員の年度途中での給与改定を提案し実現。給与の遡及は他市町村にも波及しました。

ヤングケアラーの啓発にCAP

質問を重ねることで、子どもの人権についてのCAP研修を小中学校で実施することに！

那覇観光アンバサダーの誕生！

キャンペーンレディという名称で女性限定なのは、多様性を掲げる市の方針と矛盾するのでは？と指摘。名称が変わり、性別不問になりました。

産後ケア事業の拡充と意見交換会の実施

利用施設が増え、予算も増えました。受け入れ施設との意見交換会が実現。今後さらにより制度へ！

事業主にもコロナ傷病手当を！

コロナ感染者への国保の傷病手当が、事業主は対象外になっていました。たかこの質問で那覇市が独自に予算をつけて支給することになりました！

職員の名札が変わりました！

カスタマー・ハラスメント対策で他府県では見直す自治体も。たかこの提案で、名字だけの表記に。

ジェンダー平等と性暴力の防止

一貫して訴えてきた最重要テーマ。レインボー那覇宣言をさらに活かす質問で、一歩ずつ前進。性による差別や暴力のない社会を目指し、啓発や被害者支援拡充を求め、実施されています。

育休明け保育所利用の復職期限が延びました

県内11市の中で1番短かった期限を、翌月1日まで！1か月間しっかり準備期間になりました。

給食費無償化へ

昨年6月に会派から給食費無償化を求める要望書を市長に手交。今年4月から中学校完全無償化、小学校は半額になりました。

糸数 たかこ プロフィール



- 1968年那覇市識名生まれ
中学校教師の両親の第一子として誕生
父は久米島出身の糸数幸祐
母は伊江島出身の糸数喜代子(旧姓高里)
叔母は元那覇市議会議員の宮平のり子
- 浦添小・浦添中、興南高校(1987年3月卒業)
琉球大学法文学部史学科(1991年3月卒業)
- 新卒でシステムエンジニアとして勤務、妊娠を機に退職
- 1997年～2005年、那覇市議(当時)の高里鈴代さんの主宰する「すぺーす・結」専従スタッフ
基地・軍隊を許さない行動する女たちの会専従スタッフ
- 1998年～子どもへの暴力防止活動(NPO法人おきなわCAPセンター元事務局長)
- 2000年～ジェンダー平等で安全な社会づくりを目的に「Weぶらんにんぐ」を設立。講座やイベントの企画運営調査事業など
- 2016年～2018年、「沖縄タイムスと読者委員会」委員
- 2021年～那覇市議会議員
沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員
- その他の職歴:
コールセンター勤務
珊瑚舎スコーレ平和学講師
昭和薬科大学付属高校で総合学習非常勤講師
八重瀬町広報担当嘱託職員及び社会教育指導員
琉球新報の配達・集金など
- 著書「糸数家の人々」(2001年ボーダーインク発行)
- 共著「窓をあければ～暮らしの中のジェンダー話」(1999年ボーダーインク発行)



議会インターネット中継

糸数 たかこのびやかな社会をつくる会

H P: <https://itokazu-takako.com>

住 所: 那覇市首里汀良町1丁目14-3

電 話: 080-3903--2948

メール: itokazu.takako@space-yui.com



HP



こどもが健やかに！

- ◆人権教育・包括的性教育の推進
- ◆子育て支援と貧困対策で保護者をサポート
- ◆こどもの声を聴く「アドボケイト」制度の導入
- ◆プレーパークなど、公園をこどもの居場所に
- ◆多様な学びを保障し、一人ひとりに合った教育を
- ◆保育士・教職員の労働環境の改善

ジェンダー平等でのびやかに

- ◆DV、性暴力、デジタル犯罪など相談支援を充実
- ◆差別につながる制度や慣習の見直し
- ◆政治・行政・地域での女性登用を推進
- ◆性の多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会へ
- ◆ジェンダー平等の視点で政策を進め、多様な声が反映される社会へ
- ◆防災に女性の視点を！

一人ひとりに寄り添う福祉へ

- ◆育児、介護、障がい、貧困など、一人で抱えない体制
- ◆当事者の声を大切にする福祉の実現
- ◆ヤングケアラーへの相談・支援体制を強化
- ◆支援につながる「気づき」と「届ける」しくみ
- ◆災害時に取り残さない、個別避難計画の作成支援

命を守り、安全で安心な環境を

- ◆平和憲法を守り、沖縄の軍事要塞化に反対
- ◆豊かな自然環境を破壊する辺野古新基地建設・軍港建設の埋立てに反対
- ◆PFOS等有害物質の身体への影響調査、水の安全、土壌汚染への対応

物価高騰に対応する那覇市独自の支援
歴史を見つめ、文化・芸能・工芸の振興と保存
持続可能な観光と環境の実現

あなたの声を聞かせてください
なは市への想いアンケート



政治がもっと身近にあることを
実感できる街にしたい
すべての人が大切にされる街にしたい
主人公は市民一人ひとり

悩みや不安が、解決につながっていく
希望や想いが、反映されていく
それが政治であってほしい

私の役目は、市民のみなさんの声を聴くこと
共に考え、行動すること

みなさんと共に、一人ひとりが大切にされ
安心して暮らせる
のびやかな社会をつくるために行動します

わたしたちも **たかこ** を応援しています



沖縄県知事
玉城 デニー



後援会長
元那覇市議会議員
高里 鈴代



沖縄うない代表
前沖縄県議会議員
比嘉 京子



コラムニスト
伊是名 夏子



編集者
新城 和博



ドキュメンタリー
映画監督 坂上 香



元那覇市議会議員
宮平 のり子

- 参議院議員社民党党首 福島 瑞穂
- 沖縄社民党女性基金創設者 新垣 洋子
- 元全労済本部長 仲宗根 清和
- 元ラジオプロデューサー 源 啓美
- 久米島紬に親しむ会 会長 川前 和香子
- 久米島郷友会 糸数 ムツ子
- ななほしてんとうむし会 館岡 舞
- 興南高校同級生 米須 真千子（旧姓 大城）

- 衆議院議員 新垣 邦男
- 後援会相談役 比屋根 太郎
- 女性史家 宮城 晴美
- 精神保健福祉士 西 智子
- 久米島郷友会 新垣 敏江
- 元自治労沖縄女性部長 宮国 幸子
- デザイナー 糸数 庸子
- ヴァイオリニスト 阿波根 由紀

- 沖縄県議会議員 山内 末子
- 元沖縄県議会議員 平良 長政
- 元高校教師 金城 幸子
- 久米島島出身 国吉 修
- 久米島郷友会 山城 久美子
- 助産師 新垣 並生
- 文筆家・エンパワメントセンター
主宰 森田 ゆり

推薦団体 社民党沖縄県連合／沖縄うない／沖縄県教職員組合那覇支部／那覇市職員労働組合

向き合い、行動する



糸数 **たかこ**